

平成30年度第2回 在宅医療と介護 中区民のつどい

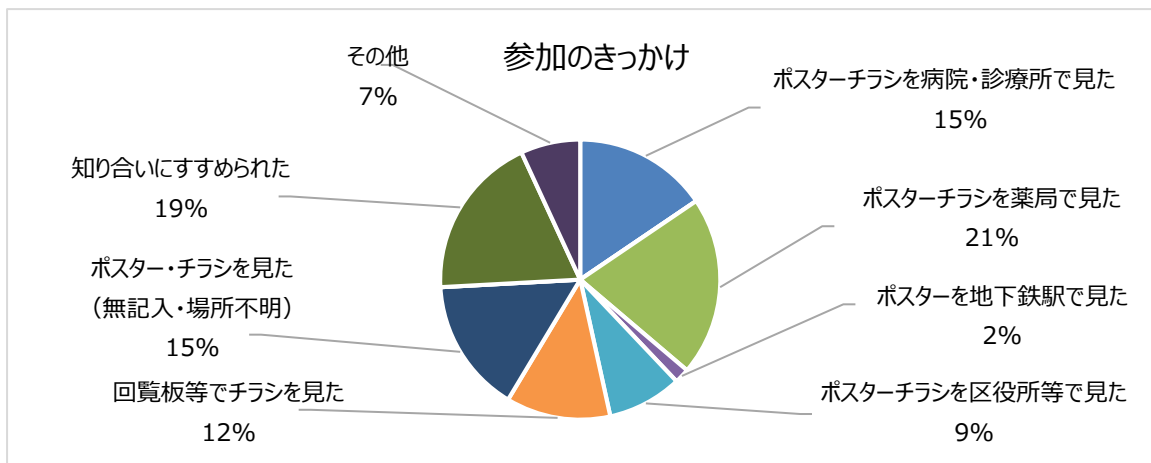
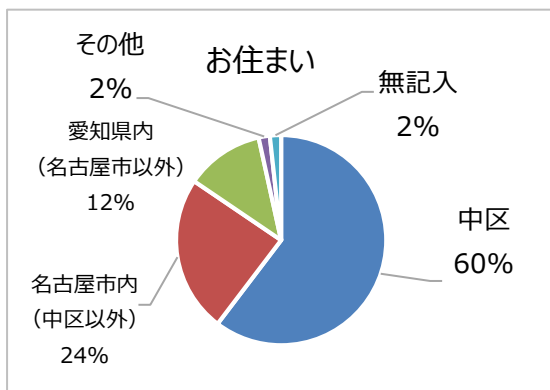
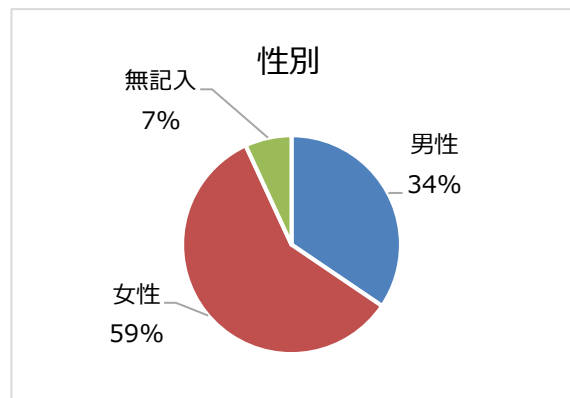
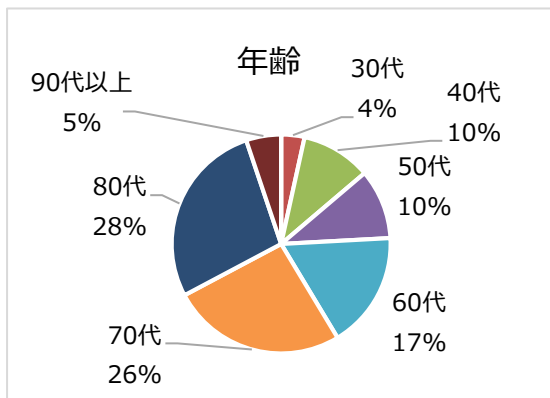
アンケートまとめ

(開催：平成31年3月16日 中区役所大ホール)

参加者93名中、アンケート回答数58名(回答率62.3%)

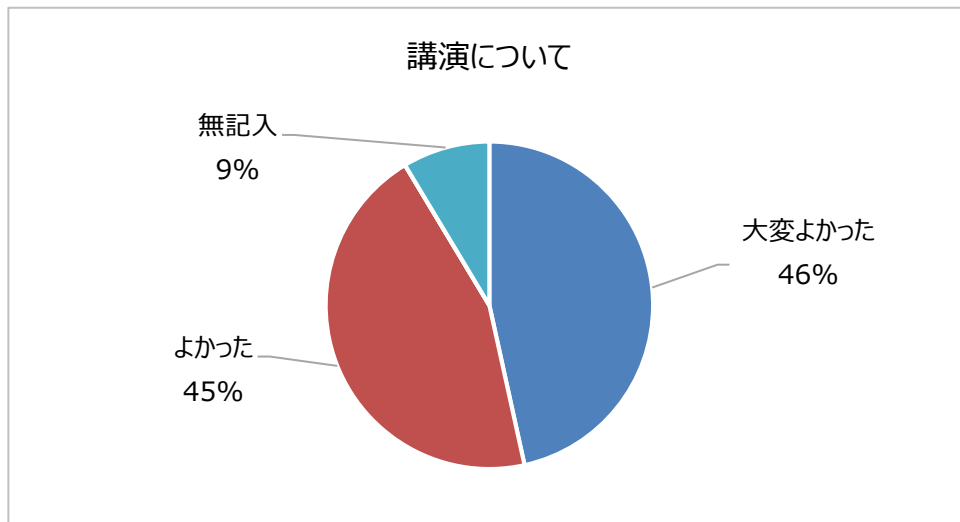
●参加者について

参加者の6割は70代以上、また6割が女性の方でした。また中区にお住まいの方が6割でした。病院や診療所、薬局でポスター・チラシを見たことをきっかけに、ご参加いただいた方が多くいらっしゃいました。



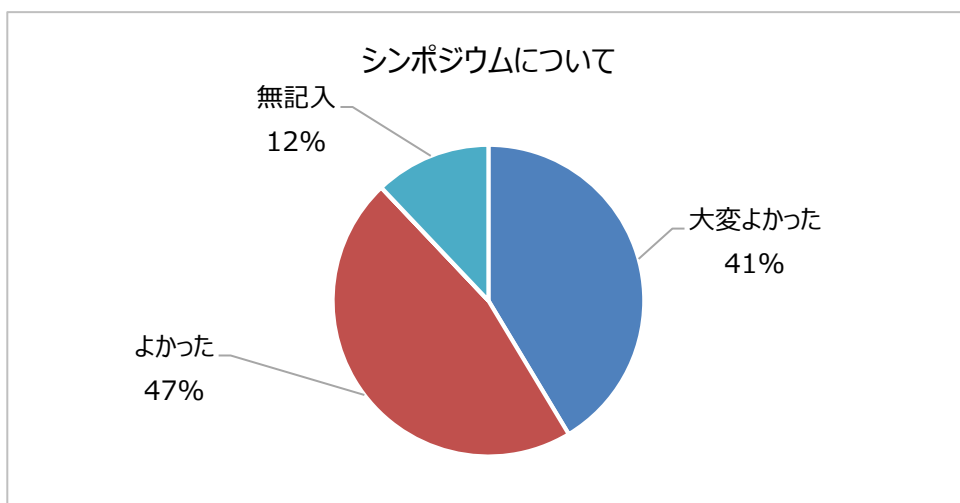
●講演『暮らしに広がる聞こえの役割』について

「内田先生講演の難聴と認知症の関係にはびっくりです」、「内田先生、じっくりお話を聴きたかった」、「先生の話し方、声色、そして話の内容すべてが非常に良かったです」等のご意見を頂きました。



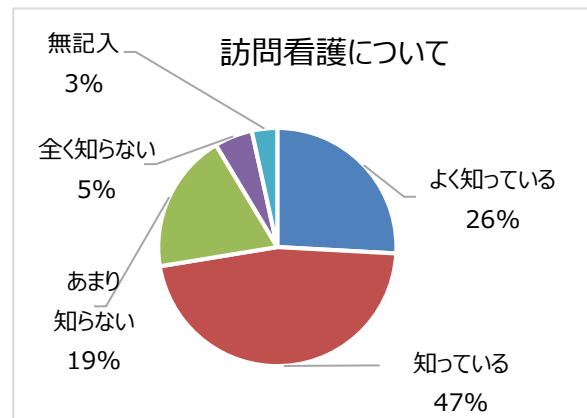
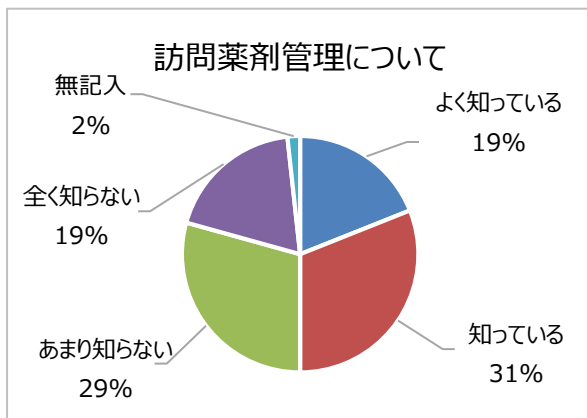
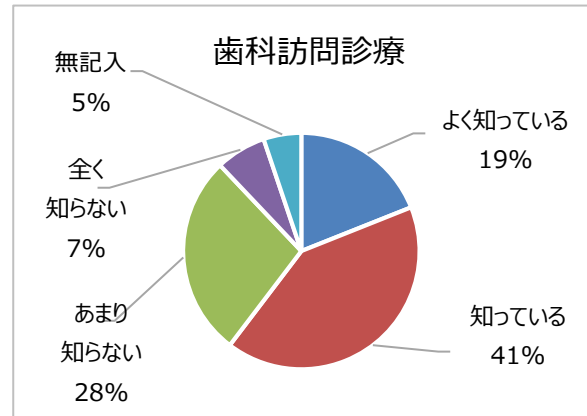
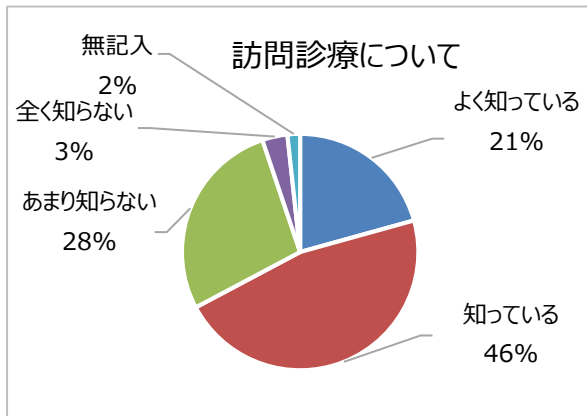
●シンポジウム「あなたを支える医療と介護について」

「今日は在宅介護が知りたくて参加しました。よくわかりました」「大変勉強になり、ありがとうございました」とのご意見をいただきました。



●訪問診療等についての認知度

「良く知っている」「知っている」と回答した割合は、訪問診療が67%、歯科訪問診療が60%、訪問薬剤管理が50%、訪問看護が73%でした。今回の講演会は、中区の医療・介護関係者の参加があったため、一般市民のみを対象に行った場合と比べると、認知度が高い結果だと考えられます。訪問看護や訪問診療と比較すると、薬剤師さんが「自宅での服薬をお手伝い」して下さる訪問薬剤管理の認知度が低いことがわかりました。



●ご意見・ご感想

「このような催しは高齢な私たちにとって、とてもありがたいです」「いいお話なのに、参加する人が少ないのが残念でした。いいお話なのにもったいないと思う」とのご意見を頂きました。広報の方法については、今後も検討を重ねていきたいと思います。

ご参加、アンケートのご記入ありがとうございました。